

一般社団法人医療情報標準化推進協議会

2022 年度（令和 4 年度）事業計画

1. はじめに

一般社団法人医療情報標準化推進協議会（HELICS 協議会）は、2019 年 5 月に一般社団法人化されてから 4 年目を迎えた。2021 年度には 1 社員が加わり、12 社員となった。また、HELICS 協議会発足以来これまで 27 指針が採択され、このうち 26 指針が厚生労働省標準規格としても認定されている。これらの指針は、厚生労働省が策定した「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」において、医療情報システムが高いデータ互換性を持つために必要とされ、また厚生労働省が進めているデータヘルス改革の中においても高い相互運用性を確保するものとして推奨されている。

標準的医療情報システムが推進されていることもあり、HELICS 協議会としても、一層必要とされる HELICS 指針候補の発掘、また社員を始め関係標準化団体とともに必要とされる標準規格の指針化に努める。

2. 理事会・社員総会の開催

医療情報のあり方に適切に対応する医療情報標準団体の議論の場として、HELICS 協議会の役割を担えるよう、理事会は HELICS 協議会の施策の立案、運営を行う。課題や運営のあり方の検討は、理事会補佐機関である運営会議で行う。

2-1 第 1 回定時理事会

日時：2022 年（令和 4 年）7 月

場所：一般財団法人医療情報システム開発センター会議室（Web 併用）
（東京都新宿区神楽坂一丁目 1 番地）

- 2021 年度事業報告について
- 2021 年度収支決算及び監査報告について
- 規則類の制定
- 定款施行規則の改定
- 定時社員総会に諮る議題について
- その他

2-2 定時社員総会

日時：2022年（令和4年）7月

場所：一般財団法人医療情報システム開発センター会議室（Web 併用）
（東京都新宿区神楽坂一丁目1番地）

- 2021年度事業報告について
- 2021年度収支決算報告及び監査報告について
- 2022年度事業計画及び収支予算計画に関する報告
- その他

2-3 臨時社員総会（書面社員総会を含む）

適宜開催

2-4 第2回理事会

日時：2023年（令和5年）3月

場所：一般財団法人医療情報システム開発センター会議室（Web 併用）

- 2023年度事業計画
- 2023年度収支予算計画
- その他

3-5 臨時理事会（書面理事会を含む）

適宜開催

3. 運営会議

理事会の補佐機関として、HELICS協議会の施策、運営等の詳細を検討し、理事会に施策の実施事項を適宜挙げていく。

適宜開催

- 一般社団法人医療情報標準化推進協議会の運営施策の検討
- 一般社団法人医療情報標準化推進協議会規則類の制定、見直し
- 事業執行状況や予算執行状況の把握

4. 標準化委員会

HELICS協議会の実質的標準化審議機関として、我が国の医療情報標準化のあるべき姿を検討し、必要とされる標準規格の発掘、策定、指針採択を進める。

4回程度開催を予定

（1）HELICS標準化指針審査の推進

- 今後申請される指針

- (2) 医療情報標準化の施策立案と推進
- (3) 標準化関連規則類の策定、改定
- (4) その他

5. 広報委員会

HELICS 協議会の活動の広報を担う委員会として、指針の普及施策を検討し実施していく。また、指針利用の現状の把握に努める。

5～6 回の開催を予定

- (1) 指針の普及を効果的に行える場の発掘を行い、その場に適したセミナー、チュートリアルの実施検討を行う
- (2) 動画を利用した広報環境を拡充し、HELICS 協議会内外から提供される動画を用いた広報活動を行う
- (3) 一般社団法人医療情報標準化推進協議会ホームページの企画や更新を適宜行う
- (4) 標準化パンプレットの改訂を行う
- (5) その他

6. 審査委員会

標準化委員会の下に適宜構成され、申請された HELICS 指針の候補を速やかにかつ公正に、その指針としての適格性を審査する。

標準化委員会の審議を基に適宜開催する。

7. その他

(以上)

一般社団法人医療情報標準化推進協議会

2022年度(令和4年度)収支予算書(2022/4/1から2023/3/31まで)

1 収入の部 (単位:円)

科目	適用	2021年度決算	2022年度予算	備考
1.財産運用収入		0	0	
2.会費収入		100,000	0	2022年度は減免
正会員A		100,000	0	A会員 11社員*10万円
正会員B			0	B会員 1社員*5万円
3.事業収入		0	0	
4.雑収入		40	0	利息
小計(1+2+3+4)		100,040	0	
前年度繰越金		4,736,119	4,563,371	
当期収入合計		4,836,159	4,563,371	

2 支出の部

科目	適用	2021年度決算	2022年度予算	備考
1.事業費		142,790	528,000	
標準化事業		0	184,000	
標準化委員会		0	90,000	
旅費交通費		0	90,000	
会議費		0	0	
審査委員会		0	94,000	3回程度を想定
旅費交通費		0	90,000	
会議費		0	4,000	
広報活動		142,790	344,000	
広報委員会		0	190,000	
旅費交通費		0	90,000	
支払手数料		0	100,000	動画作成の謝金
会議費		0	0	
チュートリア		142,790	154,000	
旅費交通費		142,790	150,000	
通信運搬費			4,000	
会議費		0		
2.管理費		129,998	622,000	
理事会・総会		0	92,000	
旅費交通費		0	90,000	
会議費		0	2,000	
運営会議		0	80,000	
旅費交通費			80,000	
会議費		0		
印刷費		0	250,000	HELICSパンフレット改訂
消耗品費		29,704	90,000	プリンタートナー、Adobeライセンス等
通信運搬費		28,094	25,000	切手、郵便代、Zoom年会費
雑役務費		2,200	4,000	振込手数料等
租税公課			11,000	変更登記等
法人税		70,000	70,000	法人税
3.予備費		0	0	
小計(1+2+3)		272,788	1,150,000	
次年度繰越金		4,563,371	3,413,371	
当期支出合計		4,836,159	4,563,371	

(収支は3月1日現在)